

米・英

# イラク攻撃の即時中止を 小泉内閣の戦争協力反対！

3月20日午前(日本時間)、ついにブッシュ・アメリカ大統領は、国連決議もないまま、イラクに対する攻撃を開始しました。

全世界の人々が戦争に反対し、各国政府が戦争ではなく平和的な問題解決を求め、国連でもイラクに対する武力行使は、ついに多数の支持を得ることはありませんでした。

国際世論の反対の中でイラク攻撃を強行したアメリカは、全世界で孤立を深めています。

わが国の小泉政権は、いち早くアメリカのイラク攻撃支持を宣言しました。「国際協調と日米同盟の両立」と説明していた小泉首相ですが、国際協調が破綻した今、戦争を支持する姿勢を宣言したことで、アメリカ一辺倒の外交姿勢を鮮明にしました。

「日本の国益にとって日米同盟がなによりも重要」という政府ですが、世界で孤立するアメリカとともに戦争の道に踏み込んでいくことは、日本もまた世界で孤立する道を歩むこととなります。これでは日本の国益にかなうとはいえません。

イラク攻撃の前から、世界経済は大きく動揺し、日本経済の先行きもますます不透明になっています。開戦によって、いっそう経済が冷え込むことも予想されます。

戦後一貫して、アメリカ追従を続けてきた日本外交はもう限界です。小泉政権の対米追従外交ではなく、日本は、アジアをはじめとする世界の国々と協調して平和外交を行う道に転換しなくてはなりません。それこそが、日本の真の国益を守る道です。

「杉並わくわく会議」はアメリカの対イラク攻撃の即時中止を求めます。また、政府の対米協力、戦争協力姿勢に反対します。

区民のみなさん、ともに声を上げて戦争をやめさせましょう。政治を大きく転換して、平和外交を推進する、自立した日本外交を実現しましょう。



杉並わくわく会議  
代表 松尾ゆり

元気がわく町 希望がわく政治

杉並わくわく会議

<http://www.suginami-waku2.net/>

区政レポート 緊急号外

杉並区下井草 1-25-36 TEL&FAX 03-5930-3181